

第78回国民スポーツ大会冬季大会
スケート競技会・アイスホッケー競技会

我 ら か く 戦 う

期 日 令和6年1月27日(土)～2月3日(土)
会 場 北海道苫小牧市

公益財団法人 北海道スポーツ協会

| 競技名 | 種別 | 評価 | 予想順位・得点 | 戦いの展望 | 有望選手・チーム | 特記事項 |
|-----------|------|----|------------------------|---|--|--|
| スピードスケート | 成年男子 | 5 | 団体1位・得点8点 個人総合得点40点 | 長野県、三重県との争いとなる予想 | 久保 向希（オカモトグループ） 菊池 健太（専修大学3年） 谷垣 優斗（専修大学3年） | 兄弟出場 久保 向希（オカモトグループ・成年男子） 久保 颯大（白樺学園高等学校1年・少年男子） |
| | 成年女子 | 5 | 個人総合得点46点 | ジュニアワールドカップ代表の軍司 愛梨（日本体育大学2年）・森野 ころこ（日本体育大学2年）、特別国民体育大会冬季大会500m優勝の阿良 美希（高崎健康福祉大学2年）と若手の有望選手がそろい、それぞれの出場種目で上位入賞が期待できる。取りこぼしを最小限に抑え、一人でも多く決勝に進み、皇后杯優勝を目指す。 | 阿良 美希（高崎健康福祉大学2年） 軍司 愛梨（日本体育大学2年） 鈴木 柊香（早稲田大学3年） 森野 ころこ（日本体育大学2年） ウィリアムソン・レミ（コカソスケートチーム・(株)小鍛冶組） | 今年度各種目のタイムランキング上位者を起用 |
| | 少年男子 | 4 | 団体1位・得点8点 個人総合得点71点 | 全ての距離において2名以上優勝候補選手が揃っているため、優位にレースを展開できることが予想される。国際競技会2位の辻本 楓芽（白樺学園高等学校3年）を軸に、初出場の1・2年生が思い切りの良いレースで、北海道チームに良い流れをつくることが予想される。 | 辻本 楓芽（白樺学園高等学校3年） 2023ジュニアワールドカップスピードスケート第1戦 500m2位 2023ジュニアワールドカップスピードスケート第2戦 500m3位 第72回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 男子500m3位 1000m5位 久保 颯大（白樺学園高等学校1年） 2024ユースオリンピック日本代表 | 軍司 冬馬（白樺学園高等学校1年） 第43回全国中学校スケート大会 男子500m優勝・1000m優勝 |
| | 少年女子 | 5 | 団体1位・得点8点 個人総合得点76点 | 普段行わないシングルトラックレースとなるため厳しい戦いが予想されるが、ジュニア選手のトップクラスが集まっているため、学校の枠を越えて北海道のために力を合わせて頑張りたい。 | 笹渕 和花（北海道帯広南商業高等学校1年） 2023ジュニアワールドカップスピードスケート第2戦 500m2位 河原 莉緒（北海道帯広三条高等学校3年） 2023ジュニアワールドカップスピードスケート第2戦 1000m2位 小島 楓（北海道帯広三条高等学校2年） 2023ジュニアワールドカップスピードスケート代表 | 姉妹出場 奥秋 智佳（白樺学園高等学校3年） 奥秋 静子（北海道帯広三条高等学校1年） 連続出場 奥秋 智佳（白樺学園高等学校3年） 河原 莉緒（北海道帯広三条高等学校3年） 松島 未来（北海道帯広農業高等学校3年） 小島 楓（北海道帯広三条高等学校2年） 山田 怜歩（北海道帯広三条高等学校2年） 今井 椋嘉（北海道帯広農業高等学校2年） |
| ショートトラック | 少年男子 | 3 | 個人8位・得点1点 | 地元出身の選手には大切な経験になると思う。もちろん競技なので、勝敗を競い合いますが、世界に誇る日本のスケート競技を皆さんで盛り上げていきたい。 | | 田原 空斗（北海道釧路商業高等学校3年） 第72回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 男子500m13位 |
| フィギュアスケート | 成年男子 | 3 | 団体8位 | 来年度の国民スポーツ大会出場枠を確保するため、団体8位入賞を目指す。 | | 長谷川 一輝（東京理科大学4年）7回目の出場 第92回全日本フィギュアスケート選手権大会出場 第49回東日本選手権大会5位（189.94点） 特別国民体育大会冬季大会 成年男子14位 坪井 聖弥（苫小牧市役所）4回目の出場 第49回東日本選手権大会10位（150.06点） 特別国民体育大会冬季大会 成年男子23位 長谷川、坪井ともに4年連続出場 |
| | 成年女子 | 3 | 団体8位 | 来年度の国民スポーツ大会出場枠を確保するため、団体8位入賞を目指す。 | | 大関 凜花（同志社大学3年） 第49回西日本選手権大会17位（118.43点） 特別国民体育大会冬季大会 成年女子22位 宮本 藍里（日本大学2年） 2023東京選手権大会23位（101.35点） |
| | 少年男子 | 1 | | 2名とも初出場。雰囲気にもまれることなくベストを尽くしてほしい。ともにフリーに進出することが目標。 | | 西本 那音（芽室町立芽室中学校3年） 第40回東日本ジュニア選手権大会21位（121.11点） 松岡 晃太郎（新篠津村立新篠津中学校3位） 2023東北・北海道選手権大会11位（83.39点） |
| | 少年女子 | 3 | | 2名とも初出場ですが、大きな大会には慣れているので、ショートでミスなく演技し、ともに上位でフリーに進出することが目標。岩本 愛子（苫小牧市立青翔中学校3年）は地元選手なので活躍に期待する。 | | 岩本 愛子（苫小牧市立青翔中学校3年） 第92回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会20位（143.30点） 加藤 杏望（札幌市立伏見中学校3年） 第40回東日本ジュニア選手権大会20位（117.82点） |
| アイスホッケー | 成年男子 | 5 | 団体1位・得点40点 | 今年のチーム構成は、攻撃陣は道内の社会人リーグで活躍しているスピードを重視した構成になり、守備に関しては、攻撃陣のスピードと運動量を多くしたため、ベテラン勢で守りを重要視した構成にして、チームのバランスを整えた。ベテランDFとスピード重視のFWの組み合わせを作り、平均年齢が若干上がったが、バランスの取れたチーム構成となった。 北海道の戦略としては、毎年同様、守りを重点にゲームプランを考え、運動量の豊富なFW陣で守りから攻撃への速い展開をして、得点を取り、勝ちに繋げて行く。選手全員、経験豊富であり、このチームで何を行うべきか理解している事が大きな強みになっている。 | 佐藤 光（タダノ・芽室町役場） 芳賀 陽介（釧路厚生社・王子コンテナー(株)釧路工場） 阿部 魁（日本製鉄室蘭・新和産業(株)） 谷 慎太郎（日本製鉄室蘭・極東貿易(株)） 小泉 智也（日本製鉄室蘭・(株)MIYABI） 徳田 凜也（DYNAX・(株)ダイナックス） 澤出 仁（DYNAX・(株)ダイナックス） 荒井 詠才（釧路厚生社・(有)荒井銘木店） | 現在、7連覇中 |
| | 少年男子 | 5 | 団体1位・得点40点 | 北海道を代表する選手であることに誇り・自覚を持ち、圧倒的な強さで優勝する。 | 小岩 獅竜（白樺学園高等学校3年） 大久保 魁斗（駒澤大学附属苫小牧高等学校3年） | 第76回全道高校アイスホッケー大会 優勝 駒澤大学附属苫小牧高等学校 第2位 北海道清水高等学校 第3位 白樺学園高等学校 現在、20連覇中 |